

「加憲」が焦点となる 2019 年の幕開けに贈る

ビッグ対談

「自衛隊と 9 条」を語る

渡邊隆
(元陸将)



内田樹
(思想家)

1954 年生まれ。陸上自衛隊幕僚監部装備計画課長、幹部候補生学校長、第一師団長、統合幕僚学校長、東北方面総監などを歴任。日本初のカンボジア P K O 初代大隊長。

1950 年生まれ。東京大学文学部仏文科卒業、東京都立大学大学院博士課程中退。現在、神戸女学院大学名誉教授。専門はフランス現代思想、映画論、武道論。

防衛大学校入学の年の長沼第一審判決で、「お前の仕事は憲法違反だ」と宣告され、悩みながら陸将まで勤め上げた渡邊隆。日本国憲法の本質的脆弱性は外来性にあるとして、「憲法を我が身に沿わせる」ことを強調する内田樹。憲法に自衛隊を明記することの可否が問われる現在、果たして二人は共感し合うことができるのか。

自衛官の使命と苦悩

「加憲」論議の当事者として

著 渡邊隆 / 山本洋
林吉永 / 柳澤協二

(2019 年 1 月刊、1700 円+税)



二人の近刊・かもがわ出版



若者よ、マルクスを讀もう III

アメリカとマルクス—生誕 200 年に

著 内田樹
石川康宏

(2018 年 9 月刊、1800 円+税)

とき

2 月 6 日(水)

午後 6 時半～(6 時開場)

主催

株式会社 かもがわ出版

参加費
1000 円

先着
200 名

[お申し込み] 下記の電話か FAX、メールへお申し込みください。入場整理券を送らせていただきます。

☎ 075-415-7902 FAX 075-415-7900 nakachi@books-kaze.jp

〒602-8119 京都市上京区出水通堀川西入亀屋町 321

ところ

ハートピア京都

3 階大会議室



地下鉄烏丸線丸太町駅下車徒歩 0 分
〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地